

議会活動への理解と認識を深めてもらい、議会をより身近なものとしていただくため、ホームページを開設しています。ぜひご覧ください。
[ホームページアドレス] www.city.hiroshima.lg.jp/gikai/

用語解説

本文中に赤文字で表記した用語を解説しています。

自伐林家

自身が所有している山などで、伐採から出荷までを自力で行う林家(林業事業者のうち1ヘクタール以上を所有する世帯)のこと。

不納欠損

自治体が徴収の決定を行った債権額について、徴収が行えないと決定すること。法令等に根拠をおく。

ブラックバイト

学生であることを考慮されず、授業に出られないなど学業に支障を来してしまうような労働をさせるアルバイトのこと。違法行為が存在している可能性も高い。

この度の報道

平成21年から平成26年にかけて、三省堂(東京)が検定中の教科書を学校教員らに見せて意見を聞く「編集会議」を開催、参加者に謝礼を支払っていた問題で、平成27年12月7日に三省堂が文部科学省に報告書を提出したため、同8日に一部新聞等で報道された。広島市からも同会議に1人出席した。

スマートインターチェンジ

高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されているインターチェンジ。通行可能な車両をETCを搭載した車両に限定しているため、簡易な料金所の設置で済み、従来のインターチェンジより低コストで導入できる。

半農半X

近年注目されている新しいライフスタイル。農業を行いつつ、他の仕事(X)でも収入を得ること。Xに当たる部分は人それぞれである。



八条 範彦
広島市民クラブ
(安佐南区)

学校教育

質問

教科書は、どのような基準で採択しているのですか。また、なぜ同じ発行者の教科書が長年採択されているのですか。この度の報道をどう受け止めているのですか。

答弁

公正かつ適正に採択を行うための基本方針を定め、この方針のもとに定めた種々の観点に基づく調査・研究を実施し、本市の学校教育の実情に即した、最も適切な教科書を選択しました。教科書については同じ教科書が採択されたケースもありますが、採択に至る手続きは公正かつ適正です。ご指摘の報道にあった行為については、疑義を招く不適切なものであり、大変遺憾です。今後事実を確認の上、厳正に対処するとともに、こうしたことがないよう指導の徹底を図ります。

サッカースタジアム

質問

現在地以外であれば、広島市は事業主体になるべきでないと考えますが、どう考えますか。

答弁

エディオンスタジアムの平成26年度末の借入残高は約9億円となっており、本市の財政にも長年大きな負担となつております。サッカースタジアムの新設に当たっては、サンフレッチェ広島と三度目の優勝を契機に県民、市民の期待が一層高まっていることを念頭に置いて、市、県や経済界、サッカー関係者が一体となつて共に取り組んでいく必要があると考えています。



エディオンスタジアム(安佐南区)

介護人材不足

質問

今後見込まれる介護需要の増加を勘案すると、介護の仕事が将来を担う若年層からも評価を高めるような取り組みが重要です。こうした視点も踏まえ、今後本市として人材確保に向けて、どう考えますか。

答弁

今年度から、介護人材と事業者の効果的なマッチングの機会を提供する「介護フェア」の開催や、優れた介護技術を習得した職員を認定する制度の創設など、対策の充実を図っています。今後は、直面する人口減少、少子高齢社会に対応し、自分たちのまちは自分たちで創るという考えの下、地域内の総力を挙げて介護人材の育成・確保に資する取り組みを行っていきたく考えています。



金子 和彦
自民党・保守クラブ
(安芸区)

東部地区連続立体交差事業①

質問

船越の協力、理解なくして事業は成り立ちません。それを後回しにして県が海田町に約束するのはもつてのほかです。この理解を船越地区住民の方からもらうため、市ももちろんですが、県も現地に入って住民に説明する責任があるのではないですか。

答弁

ご指摘のとおり、県の所管する府中町・海田町域での整備内容は本市域と密接な関連があることから、今後、船越地区住民に対する見直し案の説明等については、県も共同で対応するよう申し入れたと考えています。



船越踏切(安芸区船越)

東部地区連続立体交差事業②

質問

船越の皆さんの気持ち目標に向けて手直しできる事業として進むことを望みますが、どうですか。

答弁

これまでの経緯があることから、現計画どおりの整備は極めて困難であり、見直し案で整備を完了した後、将来改めて現計画どおりの高架化をすることも困難だと考えますが、船越地区住民の意向を踏まえ、どのような対応ができるかについて、共同事業者である県や事業制度を所管する国と協議・調整していきたく考えています。

保護者へのサポート体制の強化

質問

子どもの不登校、いじめ、問題行動、進学問題、親子関係等々、様々な悩みを抱える保護者に対して、学校や教育委員会がどのような体制をとっているのですか。

答弁

各学校で、家庭訪問や生徒に関する情報を共有し、教職員を相談員とする「ふれあい相談窓口」を設置し、サポート体制の強化に努めています。教育委員会では、各学校へスクールカウンセラーを配置し、保護者がより専門的な援助や助言などを受けられるようにし、さらに「広島市青少年総合相談センター」や「児童相談所」、今年開設した「少年サポートセンターひろしま」において、随時保護者等が相談できる体制を整えています。



米津 欣子
公明党
(佐伯区)

中山間地の活性化

質問

豊富な観光資源や地域資源がある湯来地区の活性化に、どう取り組みますか。

答弁

地域資源を活用した里山産業を魅力ある仕事として維持・創出していくことが重要です。今後は移住希望者を半農半Xの担い手として活用し、育成、支援を行い、定住者を増やしつつ里山産業を活性化させ、中山間地の活性化につなげていきます。



クアハウス(湯来地区)

地域防災活動

質問

各校校区に自主防災組織が結成されていますが、防災活動を行っていますか。それぞれの地域で発生し得る災害を予測し、それに対する防災のあり方を行政として指導・助言すべきと思いますがどうですか。

答弁

地域の状況に応じた防災活動が重要であると認識しています。このため、今年度からはそれぞれの地域で想定される災害などがより理解しやすく、避難行動につながるよう、町内会単位の「わがまち防災マップ」の作成に取り組んでいるところです。今後は同マップを活用するなどして地域の状況に応じた防災訓練が実施されるよう、区役所や消防署が連携し、自主防災組織に対する指導や支援を行っています。



自主防災組織の活動

認知症

質問

認知症予防のためどのような方策を考えていますか。10年たてば子どもたちも大人になります。認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る地域づくりのための認知症講座を、学校などで開催してはどうですか。

答弁

認知症予防が可能とされる「軽度認知障害」を早期発見するため、専門医療相談や鑑別診断、専門医療の提供等を行っているところです。また運動習慣による認知症予防効果についても積極的に啓発していきたいと考えています。子どもたちのための講座としては、小・中学生を対象とした認知症サポーター養成講座を開催しています。今後、校長会等で同講座の周知を図り、関係機関・団体との連携のもと、同講座の実施に努めていきます。

学校統廃合

質問

少子化が進むにつれ学校を統廃合する時期が来ると考えられます。行政の対応、地域づくり・市民活動等が学校単位の行われており、学校区再編に際しては、関係部局・地域住民の意見をよく聞き配慮すべきと思いますがどうですか。

答弁

現在、国の手引きも踏まえて配置計画(素案)の見直しに着手しており、今後は地域ごとにコミュニティの状況等を整理・検討し、それぞれの地域に応じた形で、教育環境の向上と地域の活性化の両面について、地域の皆様と意見交換等を行ってまいります。



竹田 康律
市政改革ネットワーク
(安佐南区)